

# 東二幼だより

# どろんこ

学校法人 曾根学園  
東二番丁幼稚園  
令和3年度 6月号

梅雨前の過ごしやすくて爽やかな季節です。年少さんは幼稚園の生活に慣れてきて担任の先生と一緒にクラスで楽しく活動しています。また、行動範囲も広がり砂場はもちろん固定遊具でも遊んだり、ダンゴムシやアリを手のひらにのせてもらってドキドキしたりする姿も見られています。虫が大好きな年中さんは、虫探しに夢中です。そして子どもたちがつくった可愛いてんとう虫やダンゴムシがはと組の保育室を虫の世界にしてくれています。まるで虫の世界で生活しているような気分になりとても楽しそうです。年長さんは大型ブロックを友達と力を合わせて自由自在に組み立て、日に日にダイナミックな家をつくりあげています。また、大好きなハンターごっこでは逃げたり確保するために追いかけたりと、顔を真っ赤にし汗を流しながら広い園庭を駆け回っています。6月も「今日が楽しく 明日が待ちどおしい幼稚園」の園生活を楽しんでいきますのでどうぞよろしくをお願いします。



## 【通年活動】

○お茶会（毎月の誕生会後に年長児が体験）  
〈ねらい〉織田有楽斎（織田信長の弟）を茶祖とする煎茶道の茶席を体験し、伝統文化に触れる。  
〈講師〉織田流煎茶道 正教授 菊地南厚 先生



○リトミック活動（月1回 全学年）  
〈ねらい〉音楽を通して、コミュニケーション能力や表現力を高める。  
〈講師〉同法人 仙台幼児保育専門学校 元非常勤講師 本宮かおり 先生



**6月1日（火）から** 夏用半袖の制服を着用してください。尚、気候が不順ですので、寒暖や体調に気を付けながら、制服の下に長袖を着用するなど、工夫をしてください。

## ようちえん おめでとう ～142歳のお誕生日～

6月7日の開園記念日に先立ち、6月の誕生会で園児と一緒に祝いします。にじ組さんがお祝いのメダルをプレゼントします。  
また、7日の記念日には、祝葉を持ち帰ります。多くの方々のおかげで楽しい園生活を送れることに感謝し、これからも健康でやさしい子どもになれるようにという願いを込めながらお祝いしたいと思います。

**教育実習**  
仙台幼児保育専門学校より2名  
【5月31日～6月25日】

## 園周辺散歩（年少組）

〈日時〉3日（木）10:00～10:30  
「幼稚園の周りにはどんなところがあるのかな？」 たんぽぽ組とちゅうりっぷ組と一緒に、交通ルールを確認しながら散歩に出掛けます。世話人さんに付き添いをお願いしています。

## 避難訓練 - 10日（木）

園内にいる時に大きな地震が起きた際の避難方法を身につけます。  
・緊急避難…机の下にもぐる  
・第一次避難…園庭中央  
日頃から地震を感じたら机の下にもぐり、揺れがおさまったら、先生の指示をよく聞き、帽子などで頭部を保護しながら避難できるようにします。



## 引き渡し訓練

大規模な大型地震が起きた場合を想定し、保護者の皆さんも参加の訓練となりますので、**緊急連絡用引き渡しカードにご記入の方のお迎え**をお願いします。

〈日時〉10日（木）13:30～14:00  
〈内容〉宮城県沖を震源地とする震度5強の地震が起こり、園児を安全に保護者の元へ引き渡すための**全員参加**の訓練です。

12:30頃 緊急メール送信  
13:20頃 園児は園庭に整列し、迎えを待っています。

（クラス旗が目印です）

迎えに来た順に引き渡しますので、お子さんの名前を担任に教えてください。

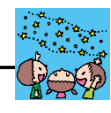
その際、引き渡しカードに引受人と時間を記入していただきます。



- ※ 雨天の場合や気候によっては、各保育室での引き渡しとなります。メールでお知らせします。
- ※ 幼稚園では緊張感をもって訓練を実施いたしますので、保護者の皆さんも私語を控えていただき、実際に想定した訓練となるようご協力をお願いします。
- ※ **引き渡し訓練の時間に間に合わない方は、クラス担任にお声掛けください。**

## 歯科検診

〈日時〉11日（金）10:00～  
歯科園医の岡部太一先生による検診です。後日、診断結果をお渡しますので、診察が必要な場合は早めに受診をお願いします。



## 天文台見学 （年中・年長組）

〈日時〉22日（火）9:15～14:00  
※ 持ち物を普段使用の通園バックに入れてください。  
※ 詳しい内容は、後日お知らせします。

## 園長のひとりごと ～「私たちが子どものよき環境に！」～

連休が終わり、幼稚園は通常保育が始まりました。毎朝園舎に響いていた「ママー、ママー！」と泣き叫ぶ声もどこへやら……。みんなニコニコ笑顔で登園です。年少さんの遊び場も砂場から東二丸、滑り台、ブランコへと広がり、日に日にたくましくなってきました。

よく「幼稚園教育は環境を通して行う」と言われます。子どもを取り巻く遊具、用具などの「物」、動植物や気象などの「自然」、友達や親、先生などの「人」がその環境に当たります。

東二幼の4月は、先生が子どもたちの揺れ動く思いをしっかりと受け止めることから始まりました。優しい声で、温かい手で、フットワークのよさで。子どもたちは、誰かに受け止めて欲しい思いをちょっとした視線の動きや小さな声で精一杯表現します。子どもたちをこちらに引き寄せせるのではなく、先生が子どものそばに寄り添って思いをくみ取る姿勢を大切にしながら、東二幼の先生は子どもたちと共に遊び、共に生活します。

まだまだ続きそうなコロナ禍の生活。こんな時こそ、毎日生活を共にしている大人が子どものよき「環境」となるよう努めましょう。